



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月2日

上場会社名 株式会社 サンゲツ

上場取引所 東名

コード番号 8130 URL <https://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	75,963	0.6	2,503	3.3	2,973	6.0	2,005	10.8
2018年3月期第2四半期	75,503	16.2	2,423	31.9	2,805	29.2	1,810	36.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,582百万円 (55.3%) 2018年3月期第2四半期 3,537百万円 (51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	31.79	31.72
2018年3月期第2四半期	27.32	27.29

(注) 2018年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	165,091	103,209	62.0
2018年3月期	170,995	106,146	61.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 102,320百万円 2018年3月期 105,226百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		27.50		28.00	55.50
2019年3月期		28.00			
2019年3月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	4.9	6,000	19.2	6,600	15.8	4,600	1.9	72.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	63,850,000 株	2018年3月期	66,050,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,242,992 株	2018年3月期	2,217,212 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	63,085,281 株	2018年3月期2Q	66,248,373 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2018年11月22日(木)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～9月30日)におけるわが国経済は、企業収支や雇用環境の改善に伴い、緩やかな回復基調となりました。他方、世界経済においては、欧米における金融政策の転換や、通商問題による貿易摩擦が及ぼす影響など、先行きは不透明な状況です。当社事業に関連の深い建設市場においては、公共投資や設備投資は堅調であったものの、非住宅分野における内装仕上げ工事は端境期を迎えており、新築住宅着工戸数もやや弱含みで推移したことから、全体として力強さを欠いた結果となりました。また、建設業界全体における施工技術者の不足や、物流関連費・原材料価格の上昇など、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは2017年5月に発表した中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」の2年目として、成長に向けた事業戦略を着実に実行しました。効率化や継続性向上を見据えた物流体制の統廃合や高付加価値商品の開発に注力したほか、社内にワーキンググループを設置し、働き方改革・生産性向上に向けた取り組みを進めました。当第2四半期連結累計期間の業績は、2017年12月に買収したGoodrich Global Holdings Pte., Ltd.の業績を新たに連結対象としたことにより、売上高と販売費及び一般管理費が増加しました。その結果、売上高75,963百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益2,503百万円(同3.3%増)、経常利益2,973百万円(同6.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,005百万円(同10.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

壁装事業では、東京オリンピックや首都圏を中心とする都市再開発需要の増加を背景に、非住宅向けの不燃認定壁紙見本帳「FAITH」の売上が堅調に推移しました。また、フィルム営業部による商品特化型の営業活動が奏功し、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」と「ガラスフィルム」が売上に貢献しました。一方、住宅市場における低価格帯商品比率は増加傾向にあり、その結果壁装材の売上高は27,278百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

なお、特定の仕入先からの一部の商品において品質問題が発生し、お客様相談室を設置の上、当該仕入先と連携しつつ当該商品の施工先住居、施設等に対する補修対策を実施しております。この補修に係る費用は仕入先によって全額負担されており、当社において損失は計上されていません。

床材事業では、商業施設や賃貸住宅等において、床用塩ビタイルの売上が継続して堅調に推移しました。また、8月にはオフィスなど非住宅向けの繊維系床材見本帳「カーペットタイル NT-700」を発売し、全国で新作展示会を開催したほか、施工講習会の開催など市場への浸透に注力しました。一方、非住宅市場での大型物件の納品が一巡したことや医療・福祉分野における昨年からの新築着工面積の減少が影響し、床材事業における売上高は20,131百万円(同0.5%減)となりました。

ファブリック事業では、住宅市場での販売が順調に推移し、住宅向けカーテン見本帳「STRINGS」、ワンプライスによる選びやすさを追求したカーテン見本帳「Simple Order」が売上に牽引しました。また、カーテン専門の販売会社「サンゲツヴォーナ」では、東京・大阪・名古屋・福岡の主要4都市での営業体制を整備しました。この結果、カーテンと椅子生地をあわせたファブリックの売上高は3,929百万円(同8.5%増)となりました。

これらのほか、施工費や接着剤などを含むその他の売上5,281百万円(同4.9%減)を加え、インテリア事業における売上高は56,621百万円(同1.8%減)、営業利益は2,372百万円(同5.1%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、販売の主力となるガーデン製品のほか、門周り全体をデザインした「ファサードエクステリア」、宅配ボックスやIoTなどデジタル技術を融合した商品など、市場の変化に対応した商品の拡販に注力しました。しかしながら、他社との競争が激化する中、猛暑や台風等の自然災害の発生も影響し、エクステリア事業における売上高は7,307百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は180百万円(同24.9%減)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、インバウンドやオリンピック需要増加に伴うコントラクト市場の好調を背景に、ホテル・宿泊施設分野にて売上が伸長しました。また、サンゲツのコントラクト営業部と営業活動を強化し、事業シナジーの創出に取り組みました。重点分野である道路照明の強化を進めるとともに、販売費及び一般管理費の削減にも努めた結果、売上高は1,902百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は2百万円(前年同期は営業損失44百万円)となりました。

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、ホテル市場を中心にデジタルプリントや粘着剤付化粧フィルム「リアテック」の販路拡大が進み、売上に貢献しました。中国市場を担う山月堂(上海)装飾有限公司においては、中国国内における従来のスケルトン販売からインフィル化への推奨が追い風となり、レジデンシャル分野、医療・福祉分野にて、壁紙と塩ビ系床材等の納品が進みました。また、第1四半期より業績の連結対象となったGoodrich Global Holdings Pte., Ltd.においては、山月堂(上海)装飾有限公司との連携など、サンゲツグループとのシナジー効果を高める仕組みづくりを進めました。この結果、海外事業の売上高は10,342百万円(前年同期比17.9%増)、営業損失は63百万円(前年同期は営業損失202百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べて5,904百万円減少し、165,091百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて2,936百万円減少して103,209百万円となり、自己資本比率は62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日発表のとおりで変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,482	25,933
受取手形及び売掛金	38,289	32,767
電子記録債権	11,516	11,701
有価証券	2,003	300
商品及び製品	13,996	14,806
仕掛品	215	258
原材料及び貯蔵品	2,750	2,690
その他	3,827	1,766
貸倒引当金	△461	△450
流動資産合計	94,621	89,773
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,360	19,322
その他(純額)	17,267	16,475
有形固定資産合計	36,627	35,798
無形固定資産		
のれん	6,624	5,428
商標権	5,980	5,850
その他	7,571	7,765
無形固定資産合計	20,177	19,043
投資その他の資産		
投資有価証券	11,662	12,544
繰延税金資産	3,742	3,771
その他	4,246	4,242
貸倒引当金	△82	△83
投資その他の資産合計	19,568	20,474
固定資産合計	76,373	75,317
資産合計	170,995	165,091

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,391	13,223
電子記録債務	9,690	7,981
短期借入金	547	840
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	963	1,144
賞与引当金	1,249	1,284
役員賞与引当金	25	14
製品保証引当金	753	742
資産除去債務	—	98
その他	6,155	5,377
流動負債合計	34,275	31,206
固定負債		
長期借入金	17,404	18,899
繰延税金負債	2,781	2,699
役員退職慰労引当金	109	114
退職給付に係る負債	7,724	7,575
資産除去債務	631	595
長期未払金	125	2
その他	1,796	787
固定負債合計	30,573	30,674
負債合計	64,848	61,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,000
利益剰余金	73,967	69,523
自己株式	△4,577	△2,641
株主資本合計	103,012	100,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,768	2,662
繰延ヘッジ損益	100	125
為替換算調整勘定	828	391
退職給付に係る調整累計額	△1,482	△1,357
その他の包括利益累計額合計	2,214	1,822
新株予約権	84	84
非支配株主持分	834	804
純資産合計	106,146	103,209
負債純資産合計	170,995	165,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	75,503	75,963
売上原価	52,382	52,100
売上総利益	23,120	23,862
販売費及び一般管理費	20,697	21,359
営業利益	2,423	2,503
営業外収益		
受取利息	12	23
受取配当金	88	67
不動産賃貸料	3	2
持分法による投資利益	234	194
その他	94	246
営業外収益合計	434	534
営業外費用		
支払利息	29	44
手形売却損	1	1
自己株式取得費用	6	5
その他	14	12
営業外費用合計	51	64
経常利益	2,805	2,973
特別利益		
固定資産売却益	0	11
特別利益合計	0	11
特別損失		
固定資産売却損	—	13
固定資産除却損	3	24
減損損失	—	35
その他	—	26
特別損失合計	3	100
税金等調整前四半期純利益	2,802	2,884
法人税、住民税及び事業税	1,141	996
法人税等調整額	△149	△118
法人税等合計	991	878
四半期純利益	1,810	2,005
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,810	2,005



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,810	2,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	△107
繰延ヘッジ損益	33	24
為替換算調整勘定	967	△457
退職給付に係る調整額	153	127
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△9
その他の包括利益合計	1,727	△423
四半期包括利益	3,537	1,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,537	1,612
非支配株主に係る包括利益	—	△30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	海外事業	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	57,486	7,453	1,791	8,771	—	75,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	163	—	—	—	△163	—
計	57,649	7,453	1,791	8,771	△163	75,503
セグメント利益又は損失(△)	2,499	240	△44	△202	△69	2,423

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	海外事業	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	56,413	7,304	1,902	10,342	—	75,963
セグメント間の内部売上高又は振替高	207	3	—	—	△211	—
計	56,621	7,307	1,902	10,342	△211	75,963
セグメント利益又は損失(△)	2,372	180	2	△63	11	2,503

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。